

1 学校教育目標

「すすんで学習する子ども」「なかよく助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎ 夢 はばたく 梅島小学校 夢の実現に向けて、子ども、教職員、保護者・地域が共に支え合い高め合う学校
○児童・生徒像	【梅島ブランド】◎：運動で体を動かしきたえ合いめ：目で見つめ心でみつめて思い合いむ：じっくり考え学び合い ゆ：まじめにやりぬき高め合い
○教師像	人間愛にあふれ、明るく前向きに対応する教師（教師の人間性） 子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師（教師の専門性） 主体的に課題解決をしながら、職務を遂行できる視野の広い教師（教師の主体性）

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の状況】

子どもたちは落ち着いて学校生活を送っている。PTA や開かれた学校づくり協議会、地域の方は学校の教育活動を理解してくださり大変協力的である。特別な配慮を要する児童や個別に支援を要する児童があり、組織的に対応している。

【前年度の成果と課題】

◎重点的な取組事項—1 学力向上アクションプラン

前期に実施した区学力に関する総合調査では、通過率85%を目標としていた。国語は昨年度よりもさらに向上したが、算数は昨年度をやや下回り、通過率85%に到達しなかった。基礎的な事項の確実な定着のため、授業改善や「パワーアップタイム」・「放課後タイム」の補充学習を充実させる。

◎重点的な取組事項—2 体力向上に向けた継続的な取組

投力を向上させるため日常の遊びや活動について研修を行った。今後は子どもたちが運動できる環境を整備し運動する機会を確保していく。

◎重点的な取組事項—3 児童の安心・安全な学校生活環境の充実

特別支援教育に対する教員の理解の向上や対応力の向上を図り安心・安全な学校生活環境の整備に努めた。

◎重点的な取組事項—4 保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実

情報発信については、学校ホームページやHome&Schoolを活用してアンケートや連絡等を行い、ペーパーレス化を図った。引き続き積極的な情報発信を行い、保護者や地域と連携していく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプランの着実な実行（梅島ブランドの「じ」）	◎	◎	◎	◎	◎
2	体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）	○	○	○	○	○
3	児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）	○	○	○	○	○
4	保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン（梅島ブランドの「じ」）							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題				達成度 ◎○ △●	
基礎的・基本的な学習事項の確実な定着		年度初：2教科とも85%以上 年度末：2教科とも75%以上	年度初:国語89% 算数86.8% 年度末:国語73.9% 算数75.1%	当該学年の内容について当該学年のうちに定着を図ることが課題である。				○	
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全教員 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> 足立スタンダード虎の巻を基にした指導の実践 SP表分析に基づく授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 単元テスト 	授業観察 単元テスト 80点以上の通過率80%以上	足立スタンダード虎の巻（青）を基にした指導 100% 授業単元テスト80点以上の通過率 国語 82.2% 算数 83.1%	問題解決を中心とした授業を充実させることができた。	○
2 新規	少人数チーム研究 小中連携	全教員 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> 学年・専科グループによる授業改善の推進 全教員研究授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 学力向上部による確認 	全教員研究授業を実施	全教員が授業を公開した。	取組の成果を確認して次年度に生かす。	○
3 継続	ICT機器の活用	全教員 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ICT活用スキルチェック 教員アンケート 	80%以上の教員が「できる」の回答10項目以上 「使える・使った」の回答を90%以上	学校ICTスキルチェック表80%以上は6項目 タブレットを活用した授業、週3回以上は100%	教員間で使用頻度やICTスキルに差がある。授業改善や研修を通して、学校全体で効果的に活用できるようにしていく。	△

4 継続	パワーアップタイムの 確実な実施	全学年 国語 算数	毎週	火曜 国語 水曜 算数 AIドリル 金曜 読書	・パワーアップテスト 1月～2月に実施	90点以上の 通過率 90%以上	パワーアップタイム は予定通り実施し た。 90点以上の通過率 漢字：96.2% 計算：96.8%	各学年、基礎的基本的な学習内容の指導を徹底した結果、達成した。	◎
5 継続	放課後補習 教室の確実 な実施	全学年 学力の C・D層 国語 算数	毎週火 曜日の 放課後	Aグループ：補充教室 (担任2名) Bグループ：課題の取 組 (担任1名、学年担当)	・区調査 再実施 1月	国語・算数と も通過率75% 以上	1月の通過率 国語 73.9% 算数 75.1%	学年、教科によって差があった。分析結果をもとに個に応じた補充を行い、つまずきを解消する。	△
6 継続	家庭学習 習慣の定着	全学年 国語 算数	5・9・1 月の1 週間	「家庭学習カード」に よる学習習慣の定着	・各学年の達 成率	家庭学習週間 目標達成率 75%以上	家庭学習週間の達成率 5月86.3% 9月84.5% 1月87.8%	継続して家庭学習の 習慣を定着させてい く	○
7 新規	読書活動の 充実	全学年 国語 その他	通年	年間読書 低学年 50冊以上 高学年 30冊以上 朝学習での読書の推進	・記録の確認 ・学習観察	目標達成率 80%以上	低学年 85.2% 高学年 86.5%	今後は、学年に応じ た本の選び方を指導 していく	◎

重点的な取組事項－２		体力向上に向けた継続的な取組（梅島ブランドの「う」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
運動に親しみ、基礎体力をつける		運動することが好きと言える児童：８０％以上	運動することが好き、どちらかという運動することが好きと回答した児童：９０．６％	休み時間に外遊びを励行するとともに、継続して運動に取り組む機会を設定した。体育実技研修による体育授業の充実によって児童が運動に親しむことができた。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体育科の授業力向上	校内体育実技研修の実施 ５回	<ul style="list-style-type: none"> 校内実技研修の実施 体育環境の整備やデジタル技術を活用した体育授業の推進 	年間５回の体育実技研を実施した。 体育科でデジタル技術を活用した指導を行い、児童が自身で動きを見たり、記録を残したりすることができた。	今年度の研修の成果や課題、児童の実態から次年度の計画を立てる。 発達段階に応じて効果的にデジタル技術を活用していく。	○
食育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○目標残菜率５％以下 ○弁当コンクール応募者１００名以上 	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりによる食育啓発 もりもりウイーク（年２回）による啓発 お弁当コンクールの実践による家庭への啓発 	年間平均残菜率 ２．４％ お弁当コンクール応募者 １３３名	もりもりウイークの他学校行事と関連させた献立の実施など、児童の関心を高めることができた。	◎
歯科治療率の向上	治癒率７０％以上 （治療済／要治療）	<ul style="list-style-type: none"> 児童への保健指導 保健だよりによる啓発 個人面談での直接指導 	治療済／要治療者 ６７．０％	全校への周知と個別の連絡を行ったが、治療率を向上させることができなかった。家庭の環境や状況等、様々な課題があるが、児童への保健指導をさらに丁寧に行っていく。	△

重点的な取組事項－3		児童の安心・安全な学校生活環境の充実（梅島ブランドの「め」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の安心・安全な学校環境の整備		学校評価アンケート ：全ての項目に置いて、肯定的回答 85%以上	学校評価アンケート ：すべての項目において、肯定的 回答86%以上	児童が安心して安全に 学校生活を送ることが できるように、さらに 学校環境を整えてい く。	◎
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)いじめ対策の推	いじめの解消率 年度末までに100%	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施（年3回） いじめに関する授業の実施（年1回） 児童によるいじめ防止に向けた自治的な取組の実施（年1回） 	認知したいじめに対する解消率は 年度末100%である。 いじめに関する授業はすべての学 級において年間1回以上実施し た。	引き続き、いじめに対 する高い意識をもち、 児童の状況把握に努め ていく。	○
(2)体罰防止の徹底	体罰案件0件	<ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止研修会（年3回） アンケートの実施 	服務事故防止研修年間3回実施 体罰案件は0件であった。	研修を充実させ、今後 も教職員への指導に努 める。 児童への指導は、学年 の教員等複数で指導す ることを徹底する。	○
(3)特別支援教育の 充実	ユニバーサルデザイ ンの実践	<ul style="list-style-type: none"> 各学級統一した環境の整備 実践状況の確認 	各学級の掲示物については統一 している。 チェックリストによるユニバーサ ルデザインの実践の確認 87%	今後もユニバーサルデ ザイン化をすすめ、児 童が安心して落ち着い て学習できる環境を整 えていく。	○

重点的な取組事項－4		保護者・地域、教職員、子どもが協働する活動の充実（梅島ブランドの「ま」）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域、教職員、子どもが協働する学校づくり		学校評価アンケート:全てのアンケート項目において、肯定的回答を85%以上	学校評価アンケート :すべての項目において、肯定的回答 1項目 77.6% 2項目 90%以上	活動については、十分伝えられていないところがある。取組の内容や成果等の情報発信を充実させていく必要がある。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 伝統・文化体験の実施	○年間1回4、5年生 参加児童のアンケート で肯定的回答85%以上 ○年間1回6年生 参加児童のアンケート で肯定的回答85%以上	・生け花体験教室の実施 ・日本画体験教室の実施	4、5年生で生け花体験教室を実施 6年で日本画体験教室を実施 肯定的な回答:96.6%	児童にとって良い体験の機会となっているので、継続して行っていく。	◎
(2) 児童によるSDGsへの取組	各方策年間1回以上	・もったいない運動 ・清掃:ごみの分別 ・リサイクル活動の実施	もったいない運動 年2回 清掃・ごみの分別 毎日 リサイクル活動の実施 4年生で水のリサイクル、ごみのリサイクルについての学習を実施	これらの取組を継続して行っていく。	○
(3) 情報発信の充実	保護者アンケート :肯定的な回答 85%以上	・学校ホームページを活用した教育活動やPTA、協議会の活動の定期的な配信 ・学校メールの効果的な配信に向けた体制の充実 ・ICTを活用したアンケートや連絡等のペーパーレス化	学校ホームページを活用して教育活動の様子を定期的に配信した。学校メールのHome&Schoolを活用した配信を行った。ICTを活用してアンケートや連絡等を行い、ペーパーレス化をさらにすすめた。 保護者アンケートの肯定的な回答:94.2%	情報発信については肯定的な回答を多くいただいた。引き続き積極的に情報発信を行っていく。	○

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

◎ 重点的な取組事項—1 学力向上アクションプラン

4月に実施した区学力に関する総合調査では、国語、算数ともに平均正答率、通過率が向上している。これは、授業改善や基礎的事項の確実な定着のための「パワーアップタイム」や「放課後補習教室」等の取り組みを全校で継続して取り組んできた成果である。つまずきが多くみられる内容や個別の学習状況を確認し、学力向上アクションプランを全校体制で着実に実施していく。

◎ 重点的な取組事項—2 体力向上に向けた継続的な取組

体力向上に向けて年間を通して短なわ週間や長なわ週間、マラソン週間に取り組んだ。今後は、休み時間の外遊びの更なる活性化に向けて運動遊びを実施していく。

◎ 重点的な取組事項—3 児童の安心・安全な学校生活環境の充実

引き続き保護者や地域とともに連携を深めながら、子どもたちが安心・安全に過ごすことができる環境整備の充実に努めていく。

特別支援教育を意識して、「ユニバーサルデザイン化」を進め、環境を整え授業実践をしていく。

◎ 重点的な取組事項—4 保護者、地域教職員、子どもが協働する活動の充実

情報発信については、学校ホームページやHome&Schoolを活用してアンケートや連絡を行い、ペーパーレス化を図った。アンケートの回収率が低いので、多くの方々に回答していただけるように改善していく。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

梅島小学校では、引き続き子どもたちの発達段階を考慮しながら、6年間をかけて目指す児童像である「運動で体を動かしたえ合い」「目で見つめ心でみつめて思い合い」「じっくり考え学び合い」「まじめにやりぬき高め合い」のできる児童を育てていきます。

登校時の見守りにご協力いただき、ありがとうございます。子どもたちのマナー向上や安心・安全な学校づくりに効果的な取組として大きな成果を上げています。子どもの生活習慣と学力・体力の定着には関連があります。今後も「早寝・早起き・朝ご飯」や「家庭学習の習慣」についてご協力をお願いいたします。子どもたちの健全育成には、学校と家庭、地域が連携した取組が大切であると考えます。よろしくをお願いいたします。

(3) その他（学校教育活動全般について）

「教職員の働き方改革」を推進していくためにも、学校が組織として効果的・効率的に機能するように組織改善に取り組んでいきます。そして、教員が子どもと向き合う時間やゆとりを確保していきます。

保護者や地域の方々が学校の教育活動に対する理解を深め、支援していただけるように情報発信の充実に取り組んでいきます。